

請願

審査の結果はどうなった

採択された請願

- 少人数学級の推進及び義務教育国庫負担制度の改善について「意見書」の提出を求める請願

請願者 山形県教職員組合置賜地区支部
 支部長 小松 正義
 全員賛成

不採択になった請願

- 国に対し、消費税増税の実施中止を求める「意見書」の提出についての請願

請願者 西置賜革新懇話会
 代表世話人 今泉 義憲
 不採択に賛成 9人 反対4人

委員長報告（不採択）に反対の討論

社会保障と税の一体改革法案は、社会保障の充実と持続可能な制度構築には一定の財源が必要なため、それに見合う税収確保をセットで議論されるものだったはず。社会保障分野の公的年金、医療保険、介護保険制度などの重要な制度改革の全体像は見えず、民・自・公3党合意で強引に決めたのは、消費税率の引き上げだけだった。

消費税率アップに対しては、「生活がしにくくなる。価格に上乗せできるのか。2段階のアップでは2度手間となり大変だ。仮受けた消費税を納付できなくなるのでは」などといった不安、切実な声を聞く。経済の先行きが不透明ななか、この地域で生活する生活者、製造業者、小売業者などに消費税率引き上げが及ぼす影響を鑑み、また、社会保障分野の制度改革の全体像が見えないなかでの消費税増税は撤回・中止すべきと考え、請願は採択すべきである。

意見書

- 少人数学級を推進すること。当面、2学年を35人以下学級とし、早期に全学年に拡大すること。

- 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担金を増額すること。

提出先 衆議院議長 参議院議長
 総務大臣 財務大臣
 文部科学大臣

人事

白鷹町監査委員



小形安弘氏

12月17日で任期満了となる白鷹町監査委員小林泰史氏の後任として、小形安弘氏が選任されました。



授業風景（東中学校）

条例

議員発議

■ **政務活動費に**
 地方自治法の改正により、交付目的を「調査研究」から「調査研究その他の活動」に名称を「政務調査費」から「政務活動費」に、改めるもの。

■ **白鷹中学校**
 現在の、2校ある中学校を統合し、新たに「白鷹中学校」を開校するための条例を制定するもの。

■ **子育て支援センターの設置・管理**
 鮎貝に設置される子育て支援センターに関する条例を設定するもの。

■ **職員の特別休暇**
 末梢血幹細胞（静脈や動脈の血液）を提供する場合に休暇を取得できるとするもの。

■ **所在地の変更**
 鮎貝土地区画整理事業の換地処分により、区域内の公共施設の所在地番が変わるもの。